

20191018 蔵前ゼミ (通算 第 78 回)



講演中の有馬さん [大企業かベンチャーか…]



世話教員の赤木さん (右) と司会の橋爪さん (左)



会場風景 (すずかけ台, J234 講義室)



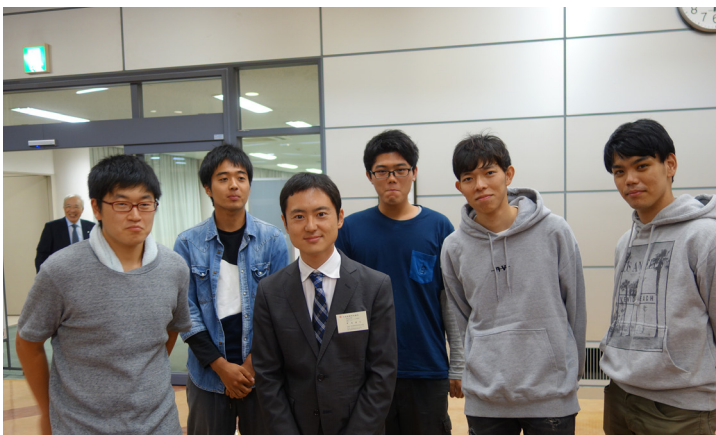
パネル Discussion「アンゾフのマトリックス…」



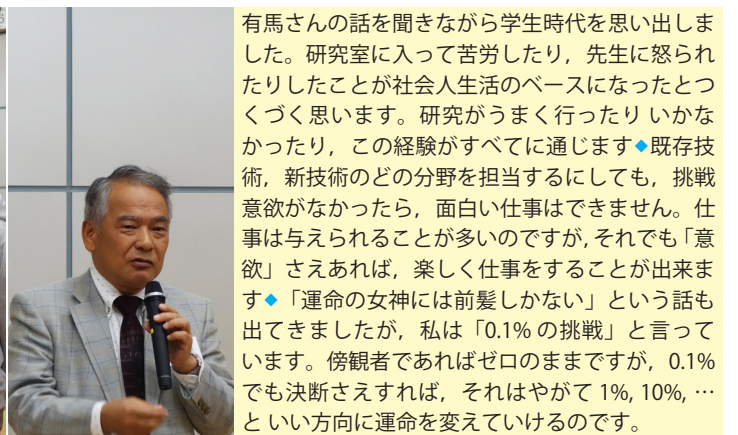
交流会の様子 (すずかけホール 3F, ラウンジ)



交流会の様子 (左から参加学生と小倉支部長・西江事務局長)



交流会の様子 (講師の有馬さんと学生たち)



有馬さんの話を聞きながら学生時代を思い出しました。研究室に入って苦勞したり、先生に怒られたりしたことが社会人生活のベースになったとつくづく思います。研究がうまく行ったりいかなかったり、この経験がすべてに通じます◆既存技術、新技術のどの分野を担当するにしても、挑戦意欲がなかったら、面白い仕事はできません。仕事は与えられることが多いのですが、それでも「意欲」さえあれば、楽しく仕事をする事が出来ます◆「運命の女神には前髪しかない」という話も出てきましたが、私は「0.1%の挑戦」と言っています。傍観者であればゼロのままですが、0.1%でも決断さえすれば、それはやがて1%, 10%, …という方向に運命を変えていけるのです。

交流会で挨拶する小倉さん (蔵前工業会神奈川県支部長)